

2011 アートマイル 報告書

日本学校名[金沢市立木曳野小学校] 担当教諭名[角納 裕信] (歴史クラブ 12名+1部活動 6年3組 30名)
 交流相手国[Indonesia]
 海外学校名[SDN Klampis Ngasem I/246 Surabaya Address: Jl. Arief Rahman Hakim 99C(Postal Cord) 60117Tel: (+62-31-5925762)]
 担当教諭名[Anis Dlofir(+62-81357906360); Dwi Wahyuni(+62-816502374)]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように。 必要に応じて行を追加して ください。	クラブ活動(歴史クラブ)	日本の(主に戦国時代)歴史をインドネシアの友達に発信しよう	10 時間
	社会科	[国際理解] 世界の中の日本～インドネシアと日本の関わり～	7 時間
	英語+課外	戦国武将の紹介を英語で出来るようにしよう	6 時間

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	日本と世界のこれからの環境問題と代替エネルギーの開発の提案～アイデアを発信～
絵に込めたメッセージ 作品展示の際に掲載 することがあります。	指導者として仁義を重んじた上杉謙信が日本の復興と同時に代替エネルギーを考え発信している様と、文化を重んじ、武芸にも秀でた金沢と関係のある戦国武将前田慶次郎がインドネシアの文様をマントに翻して文化の交流を図っている様を日本側は描きました。インドネシアの方は、自然環境と大好きな自分たちの学校のこと、伝統的な踊りを描いています。環境と文化の交流という形で仕上がりました。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・戦国武将を紹介するために、夏のフィールドワークから必要感を持たせて活動を組むことが出来た。また紹介するためには、英語を勉強しなければならないが、発信する相手がいることで、自ら学ぼうとする意欲付けをすることが出来た。絵を描くために自分たちの表現したいもの、発信したいものを効率よく、限られたスペースの中に入れるにはどうしたらいいか、話し合う機会を持つことが出来、話し合い相談するチカラがついた。	・正直なことを言うと、自分は今年で4年目でありもともと国際交流理解教育をしてきているのだからある程度やり方も外国との付き合い方も先のこともだいたい分かっているからトラブルが起こってもそのことに対して対応も出来、このトラブルを良い方向に持って行く方法も分かるが、このような経験を積み積むほど、どんどん「普及」から遠ざかっていってしまう。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
・学級が複数ある場合は全クラスで取り組む必要があり、4クラス規模であるとリードをとるのが難しくなっている。児童の評判は良く、また保護者や学校長も子どもや親の声を聞いているから「よし」なのだが、頑なに反対する先生がいるため、なかなかはかどらない面もある。広報は児童の口から自ずと語られる。	・図工科の先生も英語科の先生も巻き込んでアートマイルを行うことが出来た。 ・また保護者の評判がとても良い。 ・反面、カリキュラムに位置づけてしまうと良いのだが、なかなかそのこと自体をよしとしない先生もおられて反対にあうこともある。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	4～6	・年間活動計画作成 ・自己紹介文作成 ・自己紹介・クラブ紹介ビデオ作成	・せっかく学習したことなのだから、発信しよう！と言うことで自分たちのホームページを持つところから始まり、自己紹介、フィールドワーク等盛りだくさんの活動計画に意欲があがった。	特別活動 (クラブ活動)
情報収集	7～9	・自分の好きな戦国武将のことを細かく調べて文章にまとめる ・金沢城～尾山神社～長町武家屋敷等フィールドワーク ・調べてきたことを英語で言う練習	・フィールドワークは部長がリーダーシップをとって高学年児童に参加を呼びかけたところ 23 人もの児童が集まった。金沢城などを実際に観たことは後の絵を描く活動の意欲につながっていった。	特別活動 (クラブ活動)
テーマ検討	10～12	・環境、日本インドネシア文化、戦国武将と一見絡み合わないテーマをどのように融合させ、絵に表すか、相談し合う	・①歴史クラブであるので、武将にこだわる こと②共同制作なので先方の意向をキチンと踏まえて描かねばならないこと③戦国武将と平和をつなげること 様々な思いの中で大変故、話し合いが真剣みを帯びてくる。	特別活動 (クラブ活動)
制作	11～12	・大学生の助けもかりつつ、放課後、クラブの時間を使ってコツコツと署名、下書き、色塗りと進めていく	・時間差ではあるが、土曜日日曜日に大学生が学校にきて絵を色塗りしたりしてすすめる、月曜日に児童がその絵を見て塗りをすすめるという形で塗っていった。月曜日に児童がきたとき、「凄い！」と感動していた。	課外活動・特別活動 (クラブ活動)
鑑賞		・インドネシア側で行われたイベントの中の写真から、自分たちの絵とどのように融合したのか観て感動する	・「自分たちの思いとインドネシア側の思いが一枚の絵の中に表されるなんて・・・はじめての経験です。ありがとうございます。」と感動と感謝の気持ちを素直に表現していた	課外活動

■学習目標と成果はどうでしょうか？

「重視」には指導にあたって重視した順位を数字で記入してください。

「先生の手応え」の評価 (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	5	⑤・4・3・2・1	戦国武将を紹介・発信するという思いと、日本文化の発信ということで再発見できた。
異文化の理解	4	5・④・3・2・1	自分ばかりでは、わがままになるので、インドネシア文化も積極的に取り入れようとした。
コミュニケーション力(説明・共感・英語)	3	5・④・3・2・1	個人差が激しいため。クラブ長と5年生の3人は非常に意欲的に活動したが一部が・・・。
情報活用能力(情報収集・発信)	8	5・④・3・2・1	教師の手助けがかなり必要であるのに、担任ではないので指導できなかったため。
人間関係をつくる(学級内・交流相手)	7	⑤・4・3・2・1	もとより同じ趣向の者が集まり活動するのがクラブ活動であり、目標達成できたので。
協働する力(役割分担・協力)	6	5・④・3・2・1	フィールドワークでは、リーダーシップを取りつつ、暑い中1日中歩き回り、頑張っていたので
学習を追究する意欲	2	⑤・4・3・2・1	はじめは教師の側からたきつける部分が多かったように思うが、最後には自分から活動出来
表現力(伝えたいことを絵で表す)	1	⑤・4・3・2・1	自分たちの思いを全てキャンバスに載せ、図工教師からだめ出しをもらい、さらによい絵に。
作品を鑑賞する力	9	5・④・3・2・1	写真の中であるが、一枚につながった絵を見て感激していたので。